



ほほえみ



〒595-0021 大阪府泉大津市東豊中町1-5-55 サンストア府中2F ☎ 0725-44-7788

先月、香川県で歯科医院を開業されている浪越建男先生が、随筆集「季節の中の診療室にて」を出版されました。

季節の出来事や身の周りに起こる様々なこと、意識しなければ過ぎ去ってしまう感情などが情景と共に描かれています。読みすすめていくうちに、日常の中で「季節を感じる」のを忘れていた事に気づかされ、勿体ないと感じるようになりました。

秋は気温の変化、祭りや月夜など季節を感じる機会が多いので、少しでも季節を感じながら日々過ごしていこうと思います。

浪越先生の本は待合室にも置かせて頂いております。待ち時間の合間に手に取っていただき季節を感じてみるのはいかがでしょうか？

院長 西村 誠



勉強会に行ってきました！

9月7日（土）に淡路島で行われた第27回 ADF スタッフミーティングに院長とスタッフで参加してきました。色々な歯科医院の発表を聞かせて頂きました。内容も盛りだくさんで大変貴重なお話を聞かせて頂きました。歯の事以外にもコミュニケーションについてのお話もあり、とても勉強になりました。

今後の診療に生かしていけたらと思います。



唾液の働き

唾液にはどんな働きがあるかご存知ですか？

唾液は耳下腺、顎下腺、舌下腺という大きな唾液腺から一日に約1000～1500ml分泌されています。

唾液にはお口や体の健康に関わる様々な働きがあります。

① 消化作用

唾液に含まれるアミラーゼという酵素にはでんぷんを分解し、消化しやすくします。

② 湿潤作用

食べ物を湿潤させ飲み込みをしやすくさせます。

③ 抗菌作用

お口の中の細菌など微生物の発育を抑えたり、お口の中への定着を阻害する働きがあります。

④ 自浄作用

唾液が流れることで歯や歯ぐきに付着した食べかすや歯垢（プラーク）が洗い流されます。

⑤ 緩衝作用

お口の中は通常中性に保たれていますが、食事をするとお口の中が酸性になり歯が溶けだします（脱灰）。この状態からお口の中を中性に戻す働きがあります。

⑥ 再石灰化作用

脱灰で歯から溶けだしたカルシウムイオンやリン酸イオンを再び歯に戻し、結晶化して修復する働きです。

唾液の分泌は夜寝てる間は少なくなります。そのためお口の中で菌が増えやすく、朝起きるとお口の中がネバついたり口臭が気になったりします。ですので、寝る前の歯磨きが重要になります。歯磨きをしてお口の中を綺麗にしてから寝るようにしましょう。

歯科衛生士 古賀 葵



Dr 三奈の歯医者さんの道具シリーズ

高圧蒸気滅菌機 (オートクレーブ)

治療に使う道具を安全に使用する為に欠かせない滅菌。熱にも強い細菌も存在するため、高圧蒸気滅菌機 (オートクレーブ) と呼ばれる機械を使って100度以上の高温、高圧状態で菌を死滅させます。西村歯科では使用した器具などを毎回このオートクレーブで滅菌して清潔な器具を使用しています。

編集後記

一灯火 (とうか) 親しむべし

中国・唐中期の文人・韓愈 (かんゆ) による詩。秋の夜長は、灯りをともして読書するのに最適だという意味が込められていて、「読書の秋」の由来と言われています。季節を感じながら、心地よい時間を堪能したいものですね。

「ほほえみ」バックナンバーはホームページにも掲載。

是非アクセスしてください！

アドレス：www.ndc1979.jp

